

鉱物資源開発の推進のための探査等事業委託費

令和3年度予算額 18.7億円（18.7億円）

事業の内容

事業目的・概要

- 近年、国内外での自動車の電動化や省エネ・再エネ機器の普及・拡大により、その製造に必要な不可欠な銅、コバルト、リチウム、レアアース等の鉱物資源の需要増加が見込まれる一方、新興国企業による資源国への進出が活発化しています。
- このため、令和3年度は、資源国における資源探査や資源国との関係強化策等を実施し、レアアース等の新規探査案件を5件採択することを目指します。
- 有望な調査結果が得られた場合には、資源開発の権利等を我が国企業に引き継ぐことによって、鉱物資源の供給源の多角化を図り、安定供給を確保します。

成果目標

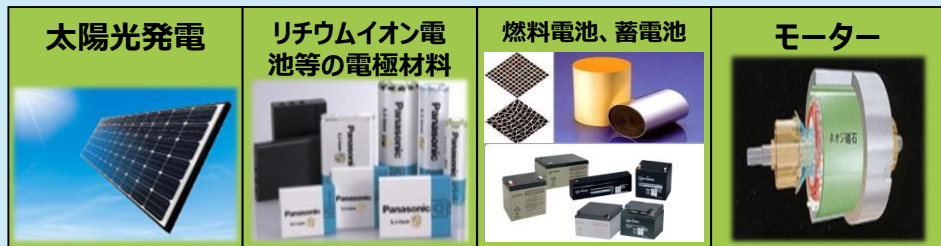
- 鉱物資源（ベースメタル）の自給率（金属需要に占める自主開発鉱石とリサイクル原料の割合。平成30年度は50%）を令和12年に80%以上に引き上げることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

次世代自動車・再エネ機器等の製造に不可欠な鉱物資源



シリコン、
ガリウム、銅

リチウム、
コバルト

白金族、鉛

レアアース
(ネオジム、ジスプロシウム、
テルビウム等)、銅

鉱物資源の資源調査

有望地域の抽出

- 人工衛星データ解析による調査
- 有望地の情報収集・解析・評価
- 資源国地質調査機関等との事前調査、協議・契約 等

資源探査の実施

- 地質調査、地化学調査、物理探査、ボーリング調査等の実施



探鉱技術・環境保全技術等移転

- 我が国が培ってきた資源開発に係る環境面での対策、人工衛星データ解析技術等の技術移転を図ることで資源国との関係強化を図る